



わくわくレポート124号
杉並区議会議員
杉並わくわく会議代表
松尾 ゆり

2010. 2. 22. 発行

連絡先：

杉並区下井草1-25-36

tel&fax 03-5930-3181

ホームページ：

<http://www.suginami-waku2.net/>

「減税自治体構想」を論じている場合か

減税自治体構想が議会に提案されるので質問しましたが、本当は「こんなふざけた構想をまじめに取り上げる役所と議会がおかしい！」と言いたいのです。

不況のまった中で仕事や家まで失う人が増えています。あるいは、保育園に入れなかったり、親の介護などの理由で退職せざるをえない人もいます。経済対策や福祉にどうお金を使うか、今まさに自治体の役割が問われているのです。

この大変なときなのに。減税自治体構想の議論などをしている場合ではない！ という思いも込めて質問をしました。

「減税自治体」は不可能～一般質問より～

●減税基金の利息では足りない！

区のシミュレーションを追試験してみました。積み立てた基金の「利息」だけでは区が言っている減税はできないことがわかりました。

区は10年後に区民税10%の減税をしようと言っていますが、それには**60億円が必要**。しかし、順調に基金をためたとしても10年後の利息は最大30億円程度、**半分程度**にしかありません。

減税するには、一般財源を投入しなくてはなりません。つまり名古屋市で行う「今すぐ減税」と同じことになります。「貯金してその利息で恒久減税」という構想は区長のホウといってもいいのです。

●税収落ち込み！ 積み立てはできるの？

今年、来年の区の財政は歳入が大幅に落ち込み、**基金（貯金）を取り崩**しています。「減税基金」の初年度である来年度、計画されている積み立ては10億円にすぎません。区が言っている年間150億円もの積み立てはいつできるのでしょうか。

●無税自治体になるのは630年後！

区の報告書では10年後10%、20年後15%の減税ができるとしていますが、その後15%減税をずっと続けていったとして、純粋に利息だけで住民税をゼロにできるのはいつのことかと思ひ計算してみました。すると、なんと驚くなかれ、630年もかかるということが判明。

●4兆円も基金に積み立て？ ありえない！

仮に毎年150億円の積み立てが可能になったとして、今度は、積立金の規模の問題を考えてみます。

区の報告書どおりに**利息1.5%**とすると、10%、60億円の減税を行うには、元本は4000億円必要です。**一般会計規模の3倍**ぐらいです。

さらに、区長のいう100%減税には、**600億円の利息**が必要になりますから、その場合の元本は計算してみるとなんと4兆円になります。

一般会計1500億円の自治体が4兆円の基金を持つということは現実的には考えられません。国や都の補助金をうけとり、区民から税金を徴収する大義は失われます。



●もうすぐやめる区長。責任とるのは誰？

山田区長は自身で定めた3期という**任期まであと1年**あまりです。10年後には、山田区長はいないのです。

10年後に約束した減税ができなかったとき、山田さんはどうやって責任をとるのでしょうか。山田さんでなければいったい誰が責任をとるのでしょうか。

●まるで「裸の王様」

このような**荒唐無稽な案**を、行政も、また自民、公明、民主などの議員までもがこれを賞賛しているというのはどういうわけでしょうか。

減税自治体構想のようなおかしい政策をおかしいとはっきり言えないのは、**区民に対する裏切り**であり、**精神的な退廃、思考停止**です。

全く「裸の王様」のようです。役所の人たちも、そして恥ずべきことに、議会の一部までもが、「王様、よくお似合いです」とお追従を並べているのです。

このような案を議決したら、杉並区議会は**末代までの笑いもの**になります。

予算特別委員会が開催されます

いずれも午前10時より開会。傍聴希望の方は当日直接議会事務局へ。その場で申し込みをします。

2月28日（日）減税自治体構想集中質疑

3月1日（月）～10日（木）予算一般への質疑

（福祉、教育などテーマごとに質疑を行います）

3月11日（金）予算案に対する各会派の意見表明